

市内の小・中学校で英語を教えているA.L.T. (外国語指導助手)の皆さんが、久慈で生活して感じてきたことを紹介するコーナーです

My life in Kuji



ムハンマド・リズキ・アブマーさん
 豪メルボルン・28歳 / 久慈湊小、小久慈小、大川目小、夏井小、平山小、久慈中、夏井中を担当

休暇のジレンマ

もうすぐ秋が来るなんて信じられませんね。夏休みの思い出を少し話したいと思います。
 今年は一人で京都や奈良の名所を巡りました。気を失いそうになるほどの猛暑でしたが、美しい場所を訪れ、興味深い歴史を学ぶことができ、本当に素晴らしい旅になりました。楽しんでいる中で、ふと自分がおかしな行動をしていることに気が付きました。時々後ろを振り向いて、今学んだことを誰かに伝えようとしているのです。もちろん、一人旅なので、そんなことはしませんでしたが(笑)。
 私は、いろいろな雑学を誰かに話したくてたまらないようです。博物館や、神社仏閣に行って歴史を深く学ぶことが大好きな私ですが、それ以上に今自分が学んだことを教えてあげることが大好きなことに、改めて気付かされました。
 次は、自分が溶けてなくなるんじゃないかと思うような暑い季節を避けて、友達と一緒に旅行をしたいと思います！

市民

センターだより



閩長内市民センター
 ☎52-7400

長内市民センター事業紹介

災害に備えて

長内地区は過去に津波や台風浸水被害を受けていたことから、9月7日防災士の大向昌彦さんを講師に迎え「浸水被害にあったお家を守るために知っておきたいこと！」講座を開催。14人が参加しました。
 災害時は生命を守るため、避難は最優先であることを確認。万が一水害で被災した場合は、慌てて行動をせず、被災状況の写真をポイントを押さえて撮っておくことや、家を片付けるにあたって必要な手続きや支援制度などの説明を受けました。
 床板を剥す際の、くぎ抜き作業も体験。床下を確認する時の注意点や、泥や水の撤去から乾燥方法など、実践に近い内容を学習しました。また、泥のかき出しや荷物の運び出しなど作業が困難なときは、災害ボランティアを頼れることも情報共有しました。
 全国的に、今まで想定していなかったような、大規模な災害が発生しています。長内市民センターでは災害に備え、今後も防災意識を高める事業に取り組んでいきます。



Name
久慈 清太郎 さん
 くじ・せいたろう(群馬県・27歳)

Profile
 久慈高校を卒業後、群馬大学大学院を修了
 久慈市陸上競技協会に所属

【令和4年度の主な成績】
 第54回岩手県ロードレース花巻大会10km 2位
 2022岩手県陸上競技選手権大会3000m障害 1位
 第49回東北総合体育大会陸上競技3000m障害 2位

きらり人輝く

岩手県陸上競技選手権大会3000m障害 2連覇中の陸上選手

今がベスト

働きながら個人で陸上を続け、今も記録を伸ばし続ける久慈清太郎さん。陸上を始めるきっかけや今後の目標について話を聞きました。

■陸上を始めたきっかけ
 陸上を始めたのは中学1年生のとき。当時は野球部に所属していましたが、友人に勧められ地区陸上のための特設陸上部に参加しました。中距離は走力だけではなく、作戦や駆け引きがあることに気が付き、高校で本格的に始めました。

■競技について
 専門は中距離です。中距離は努力次第で上位の人と戦っているのが、魅力だと思います。3000m障害は高校の時のコーチが専門としていたので指導を受けました。障害競技はハードルや水壕の攻略が順位に直結します。試合では水に浸かる時間を短くして靴を重くしないためにも、なるべく一歩で水壕から出られるよう、遠くに跳ぶことを意識しています。

■トレーニング
 実業団には所属せず、自分でメニューを考え、陸上仲間と経験を持ち寄って週末にトレーニングを行っています。社会人になり練習量は減りましたが、上手く疲労が抜けるのか、集中して練習ができます。年々記録が伸びているのが面白く、原動力になっています。

■今後の目標
 1つ目の目標は全日本実業団対抗陸上選手権大会に出場することです。トレーニングを重ね参加標準記録の突破を目指しています。2つ目は日報駅伝で久慈市を入賞させることです。お世話になっている久慈市陸協の皆さんや、毎回試合を見に来てくれる両親のためにも、今年こそ入賞に導きたいと思います。

移住コーディネーター通信

藤織 ジュン さん
 (ふじおり・じゅん 30歳)



移住フェア「THEいわてDAY」に行ってきました

移住コーディネーターの藤織ジュンです。9月3日(土)に東京都有楽町にある東京交通会館で行われた「THEいわてDAY」へ参加してきました。県主催の移住フェアは3年ぶりの開催だったのですが、来場者が約2倍に増えたそうです。いわて暮らしアンバサダー天津木村さんのトークセッションの効果なども“あると思います”が、コロナ禍で地方移住への関心が高まっていることも伺えました。
 市のブースにはUターンを考えている久慈市出身者や、北三陸久慈市ふるさと大使などたくさんの方が来場。移住先を模索している人には「一度観光にきてください」とご案内しました。リアルイベントで移住希望者の声を聞いたのは貴重な体験でした。
 久慈市は地域おこし協力隊の募集を随時行っており、お試し暮らし住宅もあります。今後はSNSやブログを通じて、まずは市に興味を持ってくれる人を増やしていきたいと思います。

●藤織ジュンさん…2018年に協力隊を卒業し、現在は合同会社プロダクション未知カンパニー代表社員を務める。2022年8月より移住コーディネーターとしても活躍。SNSの活用や移住定住のイベントなどに参加し、久慈市の魅力発信を行っている。

集まれ！元気の輪 カトレア

代表：古山 敬さん
 活動場所：小久慈市民センター ☎59-3051
 活動日：毎週水・土曜日 19時45分～21時30分

見事なブロックで白熱した試合



笑顔で記念撮影するサークルの皆さん

カトレアは平成11年に設立されたソフトバレーボールサークルで20代～70代の男女20人で活動しています。ソフトバレーボールは通常のバレーボールより大きくて柔らかいボールを使うので、老若男女を問わずプレイすることができます。ソフトバレーボールを通じて健康増進や日々のリフレッシュを目標に活動しており、円になってのパス回しや、試合形式で賑やかに練習しています。
 メンバーは随時募集中。大会に参加する意欲のある人は大歓迎です。小久慈地区以外の方も参加できます。まずは一度遊びに来てくださいね。